

# 箒根学園 開校。

令和の学校で作る新しい1ページ

問い合わせ 函教育総務課 ☎0287(37)5231

令和5年4月、箒根地区の関谷小・大貫小・横林小・箒根中が統合し、箒根学園が開校した。児童生徒がとにも学べる環境が整った箒根学園の今を見てみよう。



旧関谷小学校敷地に建設された箒根学園校舎。手前が新校舎、奥が旧関谷小の校舎で、2つの校舎を渡り廊下でつないだ。新校舎には太陽光発電パネル、蓄電池システムが設置され、停電時でも学習環境が維持できるようになっている。

## 小規模特認校制度で学区外からの通学も可能

箒根学園は小規模特認校のため、市内各地域(他の小規模特認校学区内を除く)からの通学が可能です。子どもの通学を検討している人やもっと詳しく知りたい人は、学校の見学も可能です。まずは函学校教育課まで問い合わせてください。

▶小規模特認校 波立小学校、高林小学校、青木小学校、高林中学校、箒根学園、塩原小中学校

▶対象者 子ども・保護者とも市内(小規模特認校の学区以外)に居住しており、保護者の責任で卒業まで通学できる人

▶問い合わせ 函学校教育課 ☎0287(37)5289

旧関谷小学校に新たな校舎を建設し、那須塩原市立箒根学園が今年度新たに開校しました。箒根学園は、関谷小学校と大貫小学校、横林小学校、箒根中学校の4校が一つになった施設一体型の義務教育学校です。統合によって全校生は240人になり、箒根地区の教育拠点となる学校になりました。その一方で、小規模特認校でもあるので、一定の条件を満たせば学区外から通学することもできます。

4月12日に行われた開校式には1年生から9年生までの児童生徒や教職員、開校に尽力した箒根学園設置準備委員会の関係者、保護者など計316人が参加しました。

校舎や校歌、校章、制服など、全てが令和の時代に作られたまさに「令和の学校」。今後の市の教育を展開する拠点の一つとして、さまざまな活用が期待されています。

※前期課程…1年生～6年生  
後期課程…7年生～9年生

## 義務教育学校の主なメリット

### 1 専門性を生かした授業展開

中学校の先生が小学校の授業で教えるなど、教師の専門性を生かした指導ができます。

### 2 中1ギャップを防ぐスムーズな進学環境

中学進学時の環境の変化がなくなり、学習のつまずきや不登校などの抑制につながります。

### 3 社会性を培う小中学生のコミュニティ

離れた学年同士の交流により、上級生の責任感や自己有用感\*、下級生の目標の明確化などの効果が見込まれます。

\*自己有用感…他者から認められることで生まれる自己肯定感。

## 開校式での誓い



児童生徒会長 山本 和奏 さん

この3月に思い出深いそれぞれの母校は閉校し少し寂しい気持ちで4月を迎えましたが、4月10日に学校を訪れると新しい校舎が私たちを迎え入れてくれて、今は、新しい学校が始まる喜びと期待で胸がいっぱいです。これからは毎日、一つの学校で児童生徒が関わります。私たちが前期課程の児童の手を取り、箒根学園を積極的にリードしていきたいです。箒根学園の最初の児童生徒となりますが、今までそれぞれの学校で築き上げてきた歴史と伝統を引き継ぎ、さらに発展させ、みんなが楽しく通えるような学校にしていきたいです。

## 新旧が融合した校舎



各教室には高効率エアコン、全熱交換型換気扇が完備され、窓を開閉することなく教室内の換気が可能。これによって、夏場や冬場の窓開閉による室温の変動を抑制する。



校庭には遊具が整備され、児童生徒が楽しく遊ぶことができます。



2つの校舎をつなぐ1階の廊下を渡った先に、旧関谷小校舎の定礎が。旧校舎も改修されたが、平成4年当時の定礎はそのままとなっている。



2階の渡り廊下に設けられた窓からの風景。天気の良い日は高原山・塩原方面の山並みが眺められる。

箒根学園最初の児童生徒として、みんなが楽しく通える学校にしていきたい。



開校式の一コマ。私服の前期課程の児童から制服を着た後期課程の生徒までが集う。制服は、男女とも濃紺色のブレザータイプで、ネクタイとリボン、スラックスとスカートから自由に選択できるジェンダーフリー仕様となっている。



校旗・校章も新たに。校旗は、開校式で渡辺市長から山本初代校長に授与された。



全校生による校歌斉唱。明るい曲調に合わせ、箒根学園で育つ子どもの感情を描いた歌詞。この日のために一生懸命覚えて開校式に臨んだ。市ホームページから校歌を視聴できる。



開校式を契機に新しい学校生活が始まる